

1. 開催日： 7月14日（月）18：00
2. 会場： 中和田中学校 会議室
3. 挨拶： 日和委員長・松田学校長（小本副校長）・富樫係長・大井係長

佐藤副委員長の司会で進められた。次第と一部変更し、冒頭、日和委員長より挨拶をいただいた。備蓄庫の点検を依頼されている。

校長公務のため新任の小本副校長より挨拶をいただいた。原中学校からの移動とのこと。中学生は防災意識が結構強い。どのようにやっていくか、このような席で検討していただきたい。

資料の説明

4) ①～④までを説明

引き続き配布資料について説明。

備蓄食料の有効活用希望数。これは防災訓練当日参加者に配布するもの。以前はカレーや豚汁など作っていたが、実際の災害では備蓄庫のものの配布のみということでのようにした。これは生徒がお手伝いに来た時には、一緒に作業することができる。

その他、11月16日の「訓練に参加する」という提出資料。

次は年間計画表、など。

（2）ペット問題について

去年は、テントとゲージ・縫いグルミを用意し説明したが、次年度は実際にペットを連れてきてやってみたいとのこと。これについては福祉保健課の大井係長に調整するようにお願いした。またペット持ち込みは地元の日和委員長にお願いした。

当日は 金木工室を予定しているがどうなるか。この運営はペットの飼い主で委員会を作り管理していただく。

大井係長

地域活動に参加した子供たちにシールを渡して、それをためていく。ただの参加ではなく、一緒に運営していく。

星川

以前は20名位参加していた。との過去の経過を説明。

この話は当時の山校長先生の時に、子供たちも参加できないかとの提案で、集会の時に生徒に呼びかけ、当時の村上副校長先生が生徒にアプローチしていた。

コロナでこのような内容はなくなってきたが、去年の連合自治会のふるさと祭りでは多くの生徒が参加し、運営に携わっていた。

今回も学校側で集会の時に呼び掛けていただき、町会でもチラシにこの件を盛り込み、ともに参加できる様にしていきたい。

訓練当日、開会式後、それぞれの役務分担に生徒を配分し、進めていく。教育現場でなく地域活動なので、先生方の力は必要はないと思われる。

去年のふるさと祭りは連合で企画し、チラシを学校で紹介していただいた。

生徒にはポイントがたまると何かもらえるよ。当日は備蓄庫の配布物を全参加者に配ることになっている。今後少人数で検討して、校長先生とも調整したい。

今回も200名体制で実施したいことを確認した。